



新年度を迎えて

校長 清水 ヒトミ

校庭の桜も咲きそろい、春の暖かな日差しが感じられる季節になりました。元気に登校した新1年生から新6年生までの子どもたち。新しい学年・新しい学級に張り切っています。校庭・校舎には、久々に子どもたちの歓声が響き、学校本来の姿を取り戻しました。

平成24年度の長岡第七小学校は、67名の新入生を迎え、14学級、全児童数364名でスタートいたしました。お子様のご入学、ご進級を心よりお喜び申し上げます。

この4月から星野校長先生の後任として、宇治市立木幡小学校から転任してまいりました清水ヒトミです。真新しいきれいな校舎、体育館、プール、運動場全面芝生化（予定）など学校環境が整う中で、全教職員と教育活動の質をこれまで以上に高めていくことが大切だと思っております。保護者の皆様や地域の方々にお力添えを賜りながら頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

さて、4月9日の始業式では、子どもたちに、「学校の値打ちは何で決まると思われますか。」と問いかけてみました。「それは、建物や先生ではなく、学ぶ子どもたちです。」

そこで、長七小の子どもたちが、どんなことをがんばるか「めざす子ども像」について話しました。

- 1 よく聞きしっかり話せる子ども
- 2 ねばり強くやり抜く子ども
- 3 命を大切にする子ども

の3つです。

これは、子どもたち一人一人につけたい力です。まずは、新学期のスタートにあたり、先生の話をしっかり聞いて学校のルールを覚えることです。そして、さわやかな笑顔で、気持ちよくあいさつすることから始めましょう。と話しました。

子どもたちにとって魅力ある学校生活とは、一人一人を大切にしてくれる先生と信頼し合える友達がいる、楽しく授業に参加できることと考えています。この魅力ある学校生活をつくるために、教職員の頑張りが、子どもたちを引っ張り、後を押します。

「きっちり叱り、たっぷり褒めて、しっかり教える」をモットーに全教職員と一丸となって進めてまいりたいと思っておりますので、重ねて深い理解とあたたかいご支援をよろしくお願いたします。

